学校番号	405

2020年度　大阪府立堺西高等学校　保健体育科

教科	体育	科目	ｽﾎﾟｰﾂ概論（男・女	単位数	2	年次	2年次
使用教科書	現代保健体育(大修館)			副教材等		やさしいｽﾎﾟｰﾂ医科学の基礎知識	

1．担当者からのメッセージ(学習方法等)

・スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともにスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

2．学習の到達目標

・体育理論やスポーツ医科学を中心に学習し、トレーニング方法やスポーツ医学について知識理解を
・専門の講師を招いて学習を行い、より専門的な技術の取得を目指す。
・グループでの課題研究を実践し、仲間と共に自ら学び実践する力を養う。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断	c：運動の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで講義･実習で得た知識を吸収し、実践できるように積極的に取り組む。主体性を持って授業に参加する。	授業で得た知識を活用し、自己や仲間の課題に応じた運動方法を考え取り組み問題解決できる。学習で得た知識・成果を活用する力を養う。	記録や技能向上の為にコンデション理論やテーピング技術を理解し、運動の合理的な実践を通じて種目特性に応じて技能を身につけ活用する力を養う。	スポーツの意義やトレーニング・救急処置等についての知識を深め、今後のスポーツとの関わり方を理解する。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート　等	ノート レポート 理論のテスト 研究発表	技能観察 ノート　　等 技術実践テスト	ノート レポート 理論のテスト　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
1学期	スポーツコンディショニング	身体と心のつながり	○				a:運動やｽﾎﾟｰﾂの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を解決するための活動などを通して、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:運動やｽﾎﾟｰﾂの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習した知識を活用したり、応用したりしている。 c：各種テーピング方法の効果と症状に合わせた実施が的確になされているか。 d：運動やスポーツの効果的な学習の仕方やスポーツライフの設計の仕方について理解している。	技能観察 受講態度の観察 ノート・レポート
		スポーツ傷害予防の考え	○					
		テーピングの理論と実際	○	○	○			
		スポーツ医学 救急処置の基礎	○			○	a:救急処置の意義について、資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 d：適切な救急処置は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、救急処置には、正しい手順や方法があること、心肺蘇生などの応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過と共に損なわれていく場合があることから、速やかに行うべきことを理解した発言や記述がある。	
2学期		コンディショニングの実際 ・ストレッチング ・マッサージ ・最新トレーニング法	○	○	○	○	a:コンディショニングの意義について、資料を見たり、、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:コンディショニングの意義について資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 c:コンデショニング理論を理解し、運動の合理的な実践を通じて種目特性に応じて技能を身につけ活用する力を養う。 d：適切なコンディショニングは、怪我を防ぐとともに、効果的なトレーニング成果を上げることができること、コンディショニングには、正しい手順や方法があることなどを理解した発言や記述がある。	技能観察 受講態度の観察 ノート・レポート
		スポーツ生理学	○			○		
3学期		スポーツ医学 （内科・外科）	○	○			a:スポーツ医学について、資料を見たり、、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:スポーツ医学について、内科的観点と外科的観点を整理し、自身の取り組むスポーツを中心として、幅広い競技に視野を向けた発言や記述がある。関心のある分野に対してより研究と考察を深め、要点をまとめて発表することができる。	技能観察 受講態度の観察 ノート・レポート
		総合演習		○				テスト 研究発表